

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	林道開設事業	会計	一般会計	事業No.	419	施策順No.	11-025	
		事業種別	政策・重点	予算科目	6-2-2-19-1			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	林務課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	17	終了	25

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	林道の未開設の計画路線						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	補助林道開設計画延長(m) 伊藤線		1824	154	150	80		
		補助林道開設計画延長(m) 県営千遠線		21458	59	80	80		
対象をどう変えるか	林道を開設することにより、間伐等森林整備と保全管理を推進する。	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		補助林道開設実施延長(累計) 伊藤線	26874	27144	27357	27741	27750	27845	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価あり】	目標に対し十分な成果が図られた。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	林道開設工事(補助)を施工することにより、森林整備の推進や木材搬出の輸送力向上を図る。特に搬出間伐を実施するためには森林所有者や素材生産業者の負担軽減やコスト軽減が重要であり、林道は木材搬出路としての基盤である。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 補助林道開設工事(繰越分) 事業主体:飯田市 伊藤線(上村)L=154m 2 補助林道開設工事 事業主体:飯田市 伊藤線(上村)L=136m 3 過疎代行(基幹林道)県営開設事業 事業主体:長野県=負担なし 千遠線(南信濃)L=164m	1 施工延長・幅員 2 施工延長・幅員 3 施工延長・幅員	1 L=154m W=4.0m 2 L=0m W=4.0m 3 L=239.0m W=4.0m
23年度実施計画	1 補助林道開設工事 事業主体:飯田市 伊藤線(上村)L=80m 2 過疎代行(基幹林道)県営開設事業 事業主体:長野県=負担なし 千遠線(南信濃)L=164m	1 施工延長・幅員 2 施工延長・幅員	1 L=80m W=4.0m 2 L=164m W=4.0m

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)林道開設事業補助金(国1/2、県0.5/10) (地)過疎対策(充当率100%)(そ)繰越金10千円 21→22繰越明許費17,800千円 22→23繰越明許費27,821千円
	起債	県支出金	24,920	10,275	15,246	
		起債	21,500	8,400	13,500	
		その他		10		
	一般財源		87	0	45	
	計(A)		46,507	18,685	28,791	
	正規職員所要時間					
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		0			
	トータルコスト A+B		18,685			

4 事業に対する市民や議会の意見

市民や森林所有者から要望がある

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	林業生産額(億円)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	伊藤線は延長L=508m・千遠線は延長L=496mを実施し、木材搬出等の林業生産を向上した。		経済的自立度(%)
	後期に向けた課題	残延長、伊藤線L=401m・千遠線L=1,337mを実施し、林業生産のさらなる工場を目指す。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	地元関係者等と現地立会を行い、効果的な林道とした。		
	後期に向けた課題	現地踏査を実施し、コストを意識しながら効果的な林道を開設する必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をしてみましたか	4年間の振り返り	工法検討や残土発生量を抑制できる中心線や縦断線形を設計に反映した。		
	後期に向けた課題	工法検討や残土発生量を抑制できる中心線や縦断線形を設計に反映していく。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	林道開設事業・開設後の林道管理は飯田市であるため、当市において事業を実施した。		
	後期に向けた課題	林道開設事業・開設後の林道管理は飯田市であるため、引き続き事業に関与していく。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①主体は飯田市で国庫補助を受け地元関係者と調整し林道を開設した。 ②林道管理者としての安全かつ効果的な林道の開設		
	後期に向けた課題	①主体は飯田市で国庫補助を受け地元関係者と調整し林道を開設していく。 ②林道管理者としての安全かつ効果的な林道の開設を目指す。		
全体を通じて	4年間の振り返り	地元関係者等と現地立会を行い、効果的な林道とした。		
	後期に向けた課題	現地踏査を実施し、コストを意識しながら効果的な林道を開設する必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------